



# よしまち ネット

吉浜まちづくり協議会情報誌

<https://yoshimachi.net/>

VOL. 57

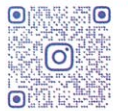
吉浜まちづくり協議会

0566-52-1101

発行日 2024年3月1日



地元吉浜の情報は  
Instagram



@YOSHIHAMA\_MACHIKYO

## たかはまアーカイブス「令和5年 祝 開校150周年」 高浜市立吉浜小学校 永久保存版 写真でつづる150年



吉浜小学校 校長  
鈴木 剛

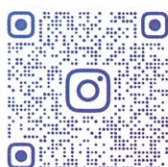
令和5年、吉浜小学校は創立150周年を迎えました。  
この記念の機会に、本校の歴史と伝統を今後に伝えるため  
吉浜まちづくり協議会で特集を組んでいただきました。  
心より感謝いたします。

本特集号からは150年の重みを感じ、身の引き締まる思いです。  
この記念すべき年に本校に在籍できる喜びを胸に、教員一同一丸と  
なって「強いからだと美しい心をもった吉浜っ子」の育成に邁進し  
てまいります。



吉浜小学校創立150周年記念 全校児童が校庭に出て人文字をつくり空から撮影

吉浜まちづくり協議会の  
Instagram始めました！



@YOSHIHAMA\_MACHIKYO



1. QRコードを読み取り
2. フォローして下さい

Instagram

インスタで地域の情報をゲット！



LINE公式アカウント  
友達募集中！

友だち登録は  
こちら ↓



吉浜まちづくり協議会 の  
公式ライン はじめました！！

1. QRコードを読み取り
2. 友だち追加で完了





郷倉にて青年会の作業（右端は松野校長）  
現在のふれあいプラザの場所 明治40年頃



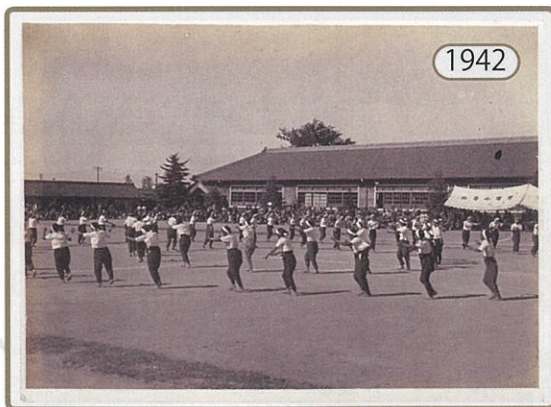
明治41年度高等科2年卒業 後の高浜町長も



大正11年度卒業写真 赤井戸校舎前



昭和2年1月 中川三吾氏 寄付 鶏舎



昭和17年ごろ 戦争末期には食糧難で  
この運動場も芋畑になった



吉浜小学校

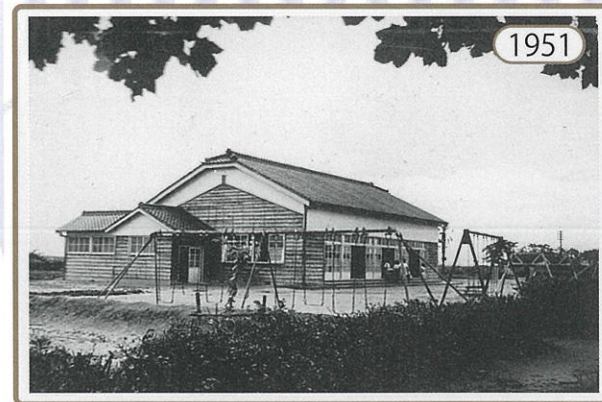
明治  
大正  
昭和

校章について  
制定に  
原田太  
三、四  
年頃  
制定に  
原田太  
三、四  
年頃  
制定に  
原田太  
三、四  
年頃

吉浜小学校の校章は大正はじめに制定された



昭和13年卒業記念写真（高等科女子）



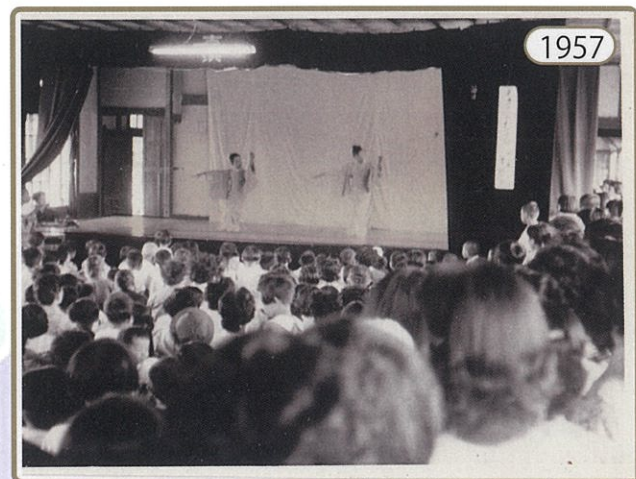
小学校北東にあった吉浜保育園  
昭和26年12月に開園



昭和31年度職員一同 野々山先生、水野先生  
斉藤先生 中川重夫校長先生



昭和32年 吉浜駅から林間学校に出発



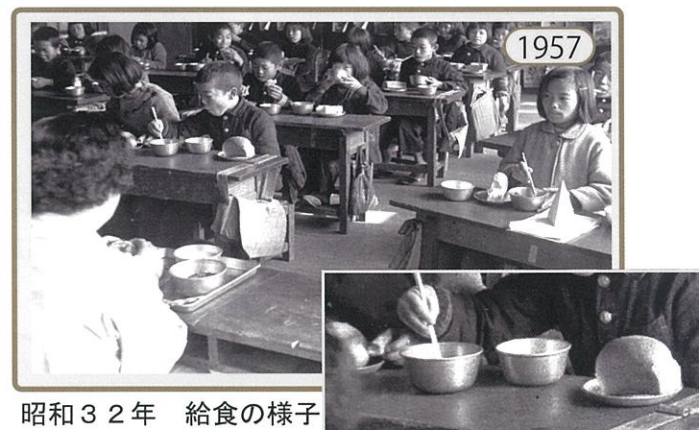
昭和32年 移動仕切りで広がった  
音楽室で学芸会が行われた



昭和30年 給食室完成 給食当番



昭和31年 衣浦大橋が開通した



昭和32年 給食の様子



パンの皿とアルミ製の食器2個



昭和33年ごろ 運動会の様子 応援合戦もすごい





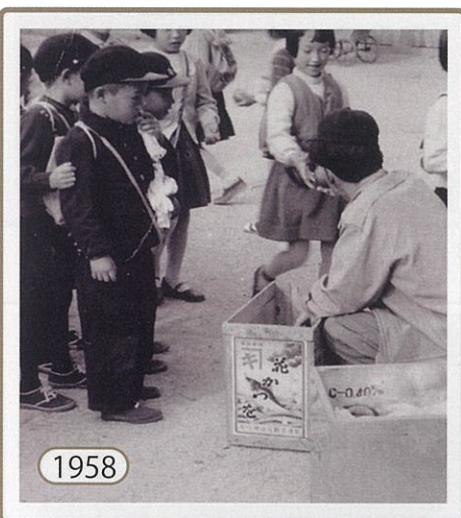
昭和34年9月26日午後9時～10時、「伊勢湾台風」台風15号が、名古屋の西を通過しました。進路の東側に入った愛知県西三河地域も凄まじい暴風に襲われ、沿岸部の碧南市や高浜市（当時は高浜町）では高潮が堤防を決壊させ大きな被害をもたらしました。吉浜小学校も瓦が落ちたり建物の損壊など大変な被害を受けました



昭和45年 市制施行記念 航空写真



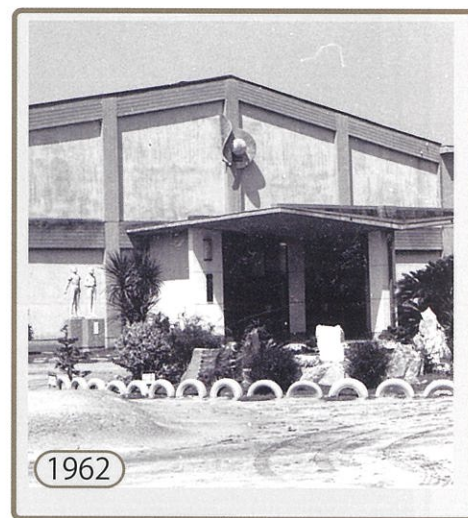
昭和48年 創立百年記念学校祭



昭和33年 遠足にリンゴが配られた



昭和41年高浜町制施行60周年



昭和37年 講堂完成



昭和46年 なかよし山 竣工

私の着任前から、PTAで計画して下さった遊び山が、四十五年度になってからと思うが、校庭の東の方に完成した。トラックに数十杯の土を盛り上げた大きなもので、トンネルや滑り台等を配した、なかなか立派なものである。山の名前は、児童から募集して、なかよし山ということになった。子どもたちが喜び群がって遊んでいるのを見るのは、たいへん気持ちがいいし、学校の環境にも一つの大きなアクセントがかった。

なかよし山



昭和35年ごろ ボンネットバスでお出かけ



昭和53年 音楽会の様子



昭和50年3月「芽立ちの碑」除幕式。高見山が角力をとった土俵が残っています



芽立ちの碑  
2023年 撮影





2001

平成13年「21世紀への歩み」の式典。児童も990名になり翼小学校が新設され、お別れの会が開催された



2012

平成24年ワクワクさん探検隊

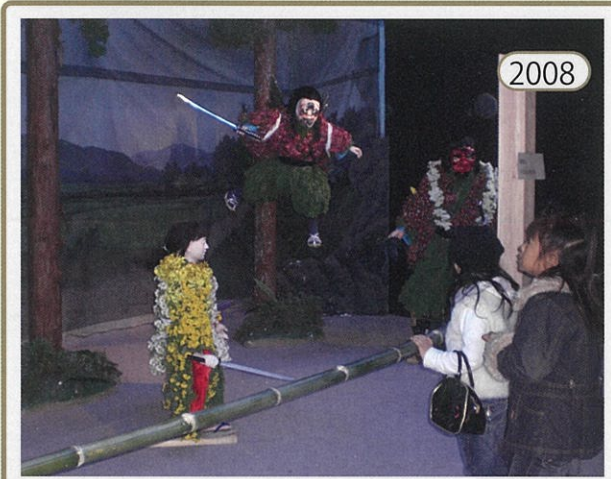


2013

平成25年 運動会 家族用のテントが張られ盛大に開催されていた

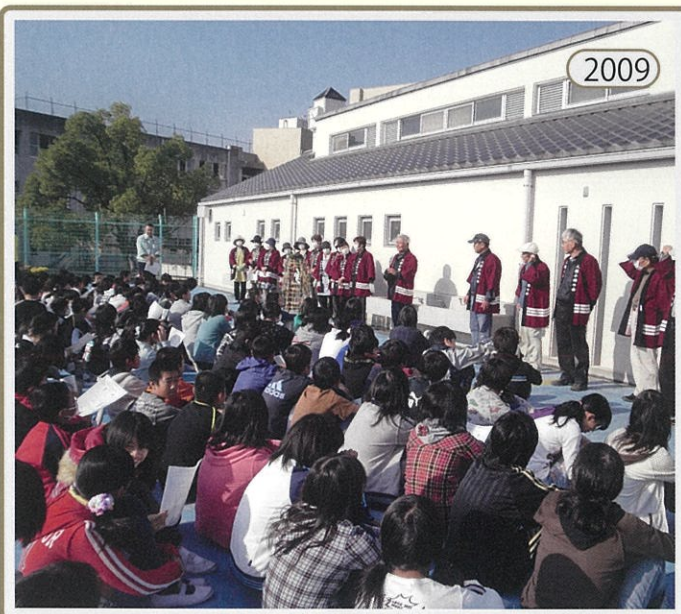
### 郷土の文化 菊人形制作体験

子ども菊人形は平成20年から続けられている



2008

平成20年 牛若丸と烏天狗



2009

平成21年 子ども菊人形の菊付け体験

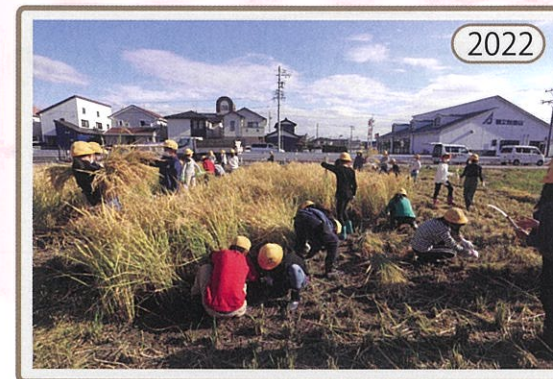


2014

平成26年 学童農園にて早乙女姿で田植え

平成

令和



2022

令和4年 学童農園 5年生の稲刈り



2022

令和4年 鬼みちまつりに向けてランプシェード作りは この年が最後になった  
2019年の年末から発祥した新型コロナウイルス感染症は生活様式を一変させた。全員マスク着用



2023

令和5年 マスクをつけてワクワクの新一年生  
新型コロナとインフルエンザが流行、学級閉鎖も...



2024

令和6年 長寿命化改良工事始まる(仮校舎建設)



## 吉浜小学校150年のあゆみ

## 吉浜小学校沿革

明治	6年	5月	1873	第六十二番小学吉浜学校創設 吉浜郷倉
	12年	10月	1879	第六十四番小学吉浜学校と改称
	16年	1月	1883	第五十八学区公立小学吉浜学校と改称
	20年	4月	1887	尋常小学小垣江学校吉浜分校と改称
	22年	10月	1889	赤井戸校舎新築
	25年	10月	1892	吉浜尋常小学校と改称
	35年	4月	1902	吉浜尋常高等小学校と改称(高等科設置)
	40年	1月	1907	高浜第二尋常高等小学校と改称
	41年	3月	1908	(高等科廃止)
	〃	4月	〃	吉浜尋常小学校と改称
昭和	7年	2月	1932	山田校舎に移転
	10年	4月	1935	吉浜尋常高等小学校と改称(高等科設置)
	16年	4月	1941	高浜町吉浜国民学校と改称
	22年	4月	1947	高浜町立吉浜小学校と改称(高浜町立高浜中学校分校併設)
	23年	8月	1948	(高浜町立高浜中学校分校併設廃止)
	45年	12月	1970	高浜市立吉浜小学校と改称
	48年	11月	1973	教育百年記念 学校祭
	53年	3月	1978	三階建て鉄筋校舎竣工
平成	7年	2月	1995	講堂取り壊し体育館竣工
	9年	2月	1997	新プール竣工(6月7日プール開き式)
	10年	9月	1998	コンピューター22台視聴覚室に設置
令和	2年	3月	2020	エアコン設置完了
	〃	10月	〃	児童一人一台タブレット端末を配布、 全教室に電子黒板を設置、愛知県下で最初に導入
	5年	4月	2023	創立150周年記念航空写真撮影
		7月	2023	校地校舎長寿命化改良工事開始(3年間計画)

画像提供 : 高浜市役所・吉浜小学校・個人蔵・吉浜まちづくり協議会

## 編集後記

吉浜まちづくり協議会広報部として平成22年から地域に関連する古い写真約11万枚を収集し、整理保存しています。また地域の活動・風景を写し、移り変わる吉浜の姿を残し続けています。

その中から今回は、吉浜小学校創立150年という記念の年にあたり57号を特集号として企画しました。

広報部長 村松 輝一



子どもたちには未来を！

家庭には笑顔を！

高齢者にはいきがいを！

地域には絆を！

吉浜まちづくり協議会

TEL / FAX

0566-52-1101

<https://www.yoshimachi.net/>





民生委員 児童委員 だより



# あかり

第36号 編集・発行 高浜市民生・児童委員協議会

令和6年3月1日

## 第71回愛知県社会福祉大会



### この一年の活動報告

高浜市民生・児童委員協議会

副会長 宮田 一枝



令和4年12月1日の民生・児童委員の全国一斉改選に伴い副会長という大役を引き受けて一年が過ぎました。

今までの一人暮らし高齢者の見守り・高齢者のみせ帯見守り調査、宅老所・ステップの食事作り等のほかに、役員会・研修会・行事参加等さまざまなことを経験した一年でした。会長・副会長・委員の皆様のおかげでいただいていた何とか務めることが出来ました。

17名の新委員を迎え心掛けたのは、委員全員が情報を共有出来るようにということでした。常に些細なことでも丁寧な説明を心掛けました。地域福祉グループのご協力もあり書面での周知も出来ました。

定例会での活気あふれる委員の皆様の活動報告・発言にも大いに触発されました。私自身も次世代に沿って行く柔軟さ

を常に持っていたいと思っています。

次に強く印象に残るのは、毎年防災訓練の時期に懸案事項になる災害時における民生・児童委員の役割についてです。近い将来、地域福祉グループ・防災防犯グループ・まちづくり協議会・町内会等が協力し、要支援者の支援について、災害時の避難行動システムを具体化していくことを期待します。そうすれば自ずと民生・児童委員の役割が見えてくると思います。

はじめて多文化共生コミュニティセンター「つなぐ」を見学させていただきました。センター長の要望は多国籍の方達に声掛けしてほしいとのことでした。民生・児童委員としても実践して行こうと思います。

愛知県身体障害者作品展がかわら美術館で開催された際には、お手伝いをしてスタッフの方達とふれ合い、すばらしい作品に出会うことが出来ました。

児童委員としての役割や子ども達のことについては研修・講座で勉強し、今も継続中です。これからは、少し心の余裕を持って今まで以上に地域の困っている方々のお役に立ちたいと思います。



## 孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残さない社会を目指して

高浜市長 吉岡初浩



民生・児童委員の皆様におかれましては、日頃より、住民の立場に立った相談・支援活動を通じて、地域福祉の推進にご尽力いただいていることに、厚く御礼申し上げます。

また、市が実施する各種事業にご理解いただき、地域の力として参画いただくなど、民生・児童委員としての活動だけではなく、幅広い分野でご活躍いただいておりますことに、重ねて感謝を申し上げます。

さて、国においては、昨年4月に子ども家庭庁が発足して以降、子ども施策の基本的な方針となる「子ども大綱」の策定がすすめられました。子ども・子育てに関する制度・施策が変わりゆくいま、主任児童委員の役割や民生委員が児童委員を兼ねることの意義、真価が問われています。

こうした状況を踏まえ、本市におきましても、子ども・子育てに関する制度・政策を押し進めるため、本年4月の「子ども家庭センター」設立に向け、準備を進めているところであります。併せて、子ども食堂事業への理解推進や、重層的支援体制整備における地域づくり支援にも尽力しているところであります。

本年4月から、「孤独・孤立対策推進法」が施行され、「孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残さない社会」、「相互に支え合い、人と人との「つながり」が生まれる社会」の実現をめざしていくなか、これらの取り組みは大変重要なものであると考えております。

孤独・孤立対策の重要性は、民生・児童委員の日々の活動を通して、皆様も実感されていることと存じます。引き続き、皆様におかれましては、住民が抱える地域生活課題の把握や支援へのつなぎ役、住民福祉活動の推進役としてご活躍いただきますことを期待しております。

結びに、民生・児童委員の皆様今後の益々のご健勝・ご多幸を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 地域を見守るつなぎ手

教育長 岡本竜生



民生・児童委員の皆様におかれましては、日頃より児童生徒の健全育成にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスが流行した一方でインフルエンザが大流行し、多くの学校で学級閉鎖を行わざるを得ない状況が横行しました。しかし、今年度はすべての小中学校において、修学旅行や緑の学校といった宿泊行事を予定通り行うことができました。残すところは中学校のスキー合宿だけとなりました。雪は十分にありそうですので、健康・安全で無事に実施できることを願うばかりです。

さて、今回は「見守る」という言葉に焦点を当ててみたいと思います。学校において、「児童生徒を見守る」「しばらく様子を見守る」ということはよくあります。日常的に行っている

と言っても過言ではありません。見守りの延長から直接的な支援をすることもありませんが、「見守る」段階では具体的な支援というよりは、その児童生徒の日常に見え隠れする何らかの「あやうさ」に気づき、いつも気にかけるということをしています。地域における民生・児童委員の皆様も、これと同じようなところがあると思います。

「見守る」という支援は、日常生活において連続する支援であって、また、その結果や成果が形として現れにくく、効果を測定することが難しいため、いわゆる制度化には馴染まない行い입니다。社会的に孤立した状態や外に助けを求めにくい人の存在に最初に気づくのは、福祉・保健・医療の専門職ではなく、同じ地域で生活する近隣住民の方、とりわけ民生・児童委員の皆様だと思います。隣人の異変を感じ取っても、声をかけ手をさしのべることに戸惑いを覚えるものです。そんなとき、隣人の「あやうさ」とそれを気づかう人の気持ちを受け止め、同じ生活者の視線で心配を共有してもらえ、情報収集の窓口として、民生・児童委員の皆様は地域での心強い存在となるはずですよ。

得られました情報はご自身で抱え込まず、公的な支援機関につなげていただくことが大切です。そこには学校も含まれます。これまでと変わらず見守り支援のネットワークの入り口に、民生・児童委員の皆様がいてくださることを願ってやみません。引き続きよろしくお願いたします。



教育長との懇談会



# 高浜市社会福祉協議会

高浜市社会福祉協議会

会長 岸上 善徳



民生・児童委員の皆様には、本社会福祉協議会の良きパートナーとして地域福祉の推進にご尽力をいただき誠にありがとうございます。

令和6年元日、震度7を観測した能登半島地震が発生。2日午後には羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突して炎上。そして3日午後には小倉駅近くの飲食店街で大規模な火災が発生しました。誰もが身近で起こると思ってもいない自然災害や人的災害が続きました。

「天災は忘れた頃にやってくる」という警句を噛み締め、常日頃からの備えが必要です。

さて、4年ぶりに行動制限がない年末年始となりましたが、コロナ前のような活気に溢れた日常生活には程遠い状況にあります。感染防止のためのマスクの着用は、残念ながら顔の表情が分からず、「コミュニケーション

ション不足を助長してきたのではと危惧しています。

昨春秋、市の保健師から一人でも多くの方が「ゲートキーパー」としての役割を担ってほしいという衝撃的なお話を、まちづくり協議会のメンバーと一緒に聞く機会がありました。自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る）をとることができるといってほしいとのことでしたが、正に民生・児童委員の皆様活躍する姿が脳裏に浮かびました。

少子高齢化や経済情勢の変化の中で、あらゆる分野で地域社会の担い手が減少。地域のつながりが弱くなり、支え合いの力が低下するとともに未婚化が進行するなど家族機能が低下してきています。社会的孤立、ダブルケア、いわゆる8050問題などの課題は、誰にでも起こりうる社会的なリスクと言えますが、個性が極めて高いため、その対応が難しくなっています。

そうした中で本社会福祉協議会では、令和5年度の事業計画の重点目標として6本の柱を掲げ、皆様のご支援をいただ

きながら推進してきました。

中でも『包括的な支援体制の強化』では、生活困窮世帯の増加や複合化・複雑化する生活課題を抱える世帯の増加に対応するため、困りごと対応力の強化とともに市などの関係機関や地域とも連携してきました。そして本職員がコミュニティソーシャルワーカー(CSW)として、地域共生社会の実現に向けた地域との関わりを進めてきました。

また、『平時からのボランティア活動の強化』では、南海トラフ地震に備えた災害ボランティアコアコーディネーターの養成、災害ボランティアセンターの設置運営訓練などに取り組んでいます。災害時の支援体制では、ボランティアセンターが中心となりますので、その基盤として必要となる住民同士で支え合う地域づくりの推進やボランティアの育成などを進めています。

そして今、最も力を注いでいるのが、本社会福祉協議会の認知度を高める活動です。介護などの困り事が起きたときには、いきいき広場の『地域包括支援センター』か『社協』に相談してみようというように。心配ごと相談、車椅子貸出事

業、こころん号貸出事業、ふれあいサービス、訪問介護事業などの在宅福祉サービスや市から受託している高齢者給食サービス事業、いきいき健康マイレージ事業などを通じて、本社会福祉協議会の存在と意義を理解していただき、活用していただけるようにして参ります。

最後になりますが、最近「70歳を過ぎたら夫婦は2人で一人前」(正確ではありませんが)という言葉を目にしました。知力・体力の衰えをお互いに補っていき生き方を物語っています。このことは地域の支え合いにも当てはまります。

今、民生・児童委員の皆様活動をはじめとする地域活動の核を担っているのは、団塊の世代と言っても過言ではありません。しかし、体力は年々ダウンします。高齢者の健康増進として推奨されている歩行と同程度以上の活動を一日40分以上すること、週2、3回の筋力トレーニングにも励みたいものです。民生・児童委員の皆様には、地域住民の身近な福祉の相談役として、また、元気な子どもの成長と健康な高齢化に向けた取り組みに引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 赤い羽根共同募金にご協力ください

共同募金は、国や市町村ではなく社会福祉法に位置づけられた共同募金会という団体によって、県単位で行われています。

愛知県共同募金会は、第一線の組織として、市町村単位に「共同募金委員会」を置いています。高浜市では、「高浜市共同募金委員会」として事務所を高浜市社会福祉協議会に置いて活動しています。

共同募金で寄せられた寄付金は、翌年度に愛知県共同募金会によって、地域福祉団体等に用途を明確にして配分されます。高浜市では、心配ごと相談、広報紙「ふくし」、わくわくフェスティバル事業、ふれあいサービス事業、車椅子貸出事業、社会福祉協力校指定事業などに活用させていただきます。

また寄付金の一部は、「災害準備金」として積立てられていますので、能登半島地震における災害ボランティアの活動を支援できるようになっています。皆さんの温かい「たすけあい」の心が、共同募金を支え、民間の福祉活動を推進させます。民生・児童委員の皆様、地域の皆様、引き続きお力を貸してください。



部会紹介

高齢者福祉部会

副部長 深谷直子

去年5月にコロナが5類に移行し今まで休眠状態だった部会活動が徐々に復活して来ました。3年間保留になっていました高齢者・障がい者福祉部会合同視察研修会も実施することができました。社会福祉法人AJU自立の家「小牧ワイナリー」の見学、午後から大府の国立長寿医療研究センターでオーラルフレイル（口の周りのささいな衰え）の予防が健康長寿につながる事、また高齢者が気を付けたい薬の副作用の講義はとも意義多い研修でした。

そして1月には、養護老人ホーム高浜安立への慰問も実施しました。久しぶりの入所者の方々と、ハーモニカの演奏を聞き、皆様と合唱し、楽しい時を過ごす事が出来ました。この3年間取り組む事が出来なかった部会活動を会員の皆さんと共に取り戻し、新しい事にもチャレンジしていきたいと思えます。

児童福祉部会

副部長 高桑敦美

長く続いた新型コロナウィルス感染症も5類に移行しました。それに伴い児童福祉部会でも対面での会議や小中学校の先生方との懇談会、市内の保育、教育施設訪問、研修も実施できるようになりました。視察研修では、アイプラザ半田にて湯浅誠氏による子ども食堂に関する講演を聴講しました。生活困窮に関係なく誰でも利用できる地域のコミュニティの場所としての役割も担う活動に変化してきていることが分かりました。

わくわくフェスティバルでは、家で使われなくなった「おもちゃ、本」を次の人へ繋ぎ、物を大切に企画「かえっこパザール」のお手伝いをしました。かえっこできるおもちゃを選ぶ子ども達の瞳は、みんなキラキラと輝いて嬉しそうでした。児童部会の活動を通じて、これからも子ども達が笑顔になれるように努めていきたいと思えますのでよろしくお願ひします。



生徒指導主事、生活指導主任との懇談会



児童福祉部会の視察研修会

障がい者福祉部会

副部長 神谷園子

この一年を振り返って、コロナは5類になり、予防をしながら動き始めました。私達部員17名も授産所高浜安立への作業支援を隔月3名ずつ参加させて頂き、その中で障がいのある方が仕事出来る場所の必要性、又仕事ぶりがよく分かりました。

9月には、第55回愛知県身体障害者作品展が、今回は高浜市で開催されました。絵画、書道、工芸等の約二百点の作品展示のお手伝いをさせて頂き、素晴らしい作品に触られました。10月は合同視察研修会で小牧ワイナリーへ行き、そこでは何らかの障がいがある36名の方が葡萄畑の管理、ワインの製造販売等、皆さん楽しく仕事をされているのが印象的でした。12月は育成会主催のクリスマス会のお手伝いがありました。これからも様々な行事、研修を通して、部員の方々と共に、障がいのある方々への理解をより深めていきたいと思えます。

あかりの会

副部長 平野しげ子

あかりの会は、民生・児童委員全員が所属して、地域福祉活動を行っています。宅老所「じい&ばあ」では毎月第4日曜日に、3名を1チームとして食事を作ります。メニューを決め、買い物をして、調理をします。ご飯は、大盛り小盛りもみえます。「美味しー！」の言葉に頑張っています。

また、学習等支援事業「ステップ」では、民生・児童委員の男性の方も参加して、7名1チームで行っています。毎月第3土曜日、小中高の子ども達40名の昼食を作ります。子ども達と一緒に食事しながらお話をし、楽しいひとときをすごします。配膳から後片付けまで一緒にお手伝いしてくれます。クリスマスには、子ども達が飾り付け、ゲーム、ダンスなどしました。当番の皆さんは体調に気を付け、手の消毒に努め実施しています。

民生・児童委員名簿

(敬称略)

担当地区	氏名
青木町	一・八・九丁目 典子 厚枝
	二・三丁目 将子 千枝
	四・五丁目 靖子 内藤
	六・七丁目 正仁 藤木
碧海町	一・二・三丁目 千代治 八裕
	四・五丁目 成子 裕義
春日町	一丁目 子 隈河
	二・三・四丁目 義しげ 岩月
	五丁目 ※ 子 杉浦
	六・七丁目 子 杉浦
呉竹町	一・二丁目 明子 下村
	三・四丁目 子 神谷
	五・六・七丁目 子 篠田
小池町	一・五・六丁目 夫義 内横
	二・三・四丁目 子 磯井
沢渡町	一・三丁目 美代 神谷
	二丁目 加津 井野
清水町	全域 定 竹内
	新田町 全域 江 坂本
神明町	一・二丁目 1.2.10~18 江子 野々山
	二丁目 3~9 子 加藤
	三・四・八丁目 子 三浦
	五・六・七丁目 子 飯尾
	一・二・七丁目 子 杉浦
田戸町	三・四丁目 正子 岩倉
	五・六丁目 三平 板倉
	全域 子 加藤
八幡町	一・六丁目 昭治 立川
	二・三丁目 1.2.3.5 美江 内藤
	三丁目 6.7・四丁目 幹 坂本
	五丁目 弘子 生深
稗田町	一丁目 1.2.3.5.8・二・三丁目 直 一丁目 6.7・四・五・六丁目 谷
	二池町 義彦 神谷
本郷町	一・六丁目 明和 杉浦
	二・三・四・五丁目 代子 川角
向山町	一・二・三・四丁目 司子 神谷
	五・六丁目 紀子 杉浦
屋敷町	一・二・七丁目 子 浅岡
	三・四・五・六丁目 美光 毛受
湯山町	一・四丁目 7 (1棟~3棟) 順子 安藤
	二・三・四丁目 1.2.8~14.16 敦政 高神
	四丁目 5.6.7 (4棟~8棟、葎池住宅以外) .15.17 子 平野
	四丁目 7 (9棟~11棟) 子 宮田
	五・六・七丁目 子 杉浦
芳川町	一・二丁目 子 杉村
	三・四丁目 子 野々山
論地町	一丁目 人 山根
	二丁目 幸 正水
	三丁目 幸 水野
	四・五丁目 実 水野

主任児童委員

(敬称略)

担当地区	氏名
市内全域	久美子 上田
	代 幸 井
	臣 雅 藤浦

※当該地区委員が未定のため、決定するまでの間、隣接する委員に兼務していただきます。



## 合同研修会に参加して

鈴木正仁

コロナ禍で中止を余儀なくされていた部会事業も、5類移行の緩和で10月に予定していた障がい者福祉部会との合同視察研修会は約30名の参加者を得て再開に至りました。

本研修会は午前部として小牧市の山間の小牧ワイナリー（社会福祉法人AJU自立の家）に於いて施設見学、ビデオ上映、交流を含めて1時間半ほどの時を過ごしました。

ここは一般的に就労が困難だったり、生活介護を要する方々が『自分らしく生きる』という目標を掲げてブドウの栽培・収穫からワイン作りまでの一貫した作業を通して、就職に向けての訓練する総合施設として8年前に建てられました。「自閉症」である方が、こうして我々の質問に素直に明るく受け答えできるのはこのユニークな取り組みの成果なのか、との印象を強く持ちました。

午後からは大府の国立長寿医療研究センターを訪れ、『多すぎる薬の副作用』と『オーラルフレイル予防』の講座を

受講しました。高齢になり処方される薬が増えれば副作用が起こりやすくなるとの指摘に年齢と薬のバランスの難しさや危うさを感じました。また、自分でもできる口腔ケアに関する「舌トレーニング」など参考になる話も多く、有意義な一日となりました。



第71回愛知県社会福祉大会



養護老人ホーム高浜安立への慰問

## 活動スナップ



①②③小牧ワイナリーにて施設見学



④国立長寿医療研究センターにて講座受講

## 各学校の担当委員

高浜小学校	神谷 厚典
吉浜小学校	毛受 保紀
高取小学校	川角 金和
港 小学校	岩月 正二
翼 小学校	宮田 一枝
高浜中学校	立川 智昭
南 中学校	神谷 義彦

## 編集後記

長いコロナというトンネルをようやく抜けようとしています。民生・児童委員活動も普段通りに戻りつつあります。昨年末より報道される政治家の裏金、元日早々の能登半島地震、そして羽田航空機事故。我々を取り巻く環境は大変です。民生・児童委員も全国的に担い手不足、本市も2名の欠員が続いています。地域の相談者として無くてはならない存在だと思います。現代社会では物質的困窮もさることながら心を病む方も多いと思われるます。時流変化にいち早く我々民生・児童委員も対応していきたいと思えます。市民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

### 連絡先

高浜市民生・児童委員協議会

☎521-9871





# 回覧

ちょっと知りたい

# 画像生成AIの世界

「画像生成AI」って、よく聴くようになったけど、  
実際に使ったことはありますか？

そんなあなたに、画像生成AIについて、  
ざっくばらんなにお茶とおしゃべりしながらの時間を  
過ごしてみませんか。

とき **3月9日(土)13:30~15:00**

ところ 高浜市いきいき広場ホールにて開催

◎途中の入退室可

◎申込は、申込フォームもしくは  
[zac.takahama.machi@gmail.com](mailto:zac.takahama.machi@gmail.com)  
ハメールでお申し込みください。

◎参加費…**無料**

◎ちょっとしたお茶とお菓子があります。

※このイラストは「MyEdit」という画像生成AIサイトのお試しで作成したものです。ざっくばらんなカフェをイメージして「日本人や外国人の20代、30代、40代、50代、60代以上のさまざまな年代の男女が、ざっくばらんなにおしゃべりしながら、特定のテーマについてワークショップをするおしゃれなカフェ」と指定したらこんな感じになりました。

《プレゼンター》

主催：高浜市、日本福祉大学高浜市まちづくり研究センター

## 羽佐田 裕紀さん(AIクリエイター)

メールでの  
お申し込みは



申込フォームでの  
お申し込みは →



ざっくばらんなカフェ

検索



# あたまとカラダの体操

高取まちづくり協議会主催



予約制ではありません  
参加する日に 直接来場してください

- 開催日 毎月 第1・第3 木曜日
- 時間 午前10時30分～11時30分  
**※受付時間 10時20分～**
- 会場 高取ふれあいプラザ 1階
- 参加対象 概ね 60歳以上 **女性限定**
- 内容 音楽にあわせて  
ゆるくあたまを使った体操
- 服装 運動靴(土足可)  
ジャージ等の運動着
- 持ち物 タオル・飲み物  
(水分補給用)
- 参加費 **無料**

## 開催日

令和6年4月～令和7年3月

	第1木曜日	第3木曜日
4月	4日	18日
5月	お休み	16日
6月	6日	20日
7月	4日	18日
8月	1日	お休み
9月	5日	19日
10月	3日	17日
11月	7日	21日
12月	5日	19日
1月	お休み	16日
2月	6日	20日
3月	6日	お休み

※ 都合により中止になる場合があります

【問い合わせ】高取まちづくり協議会事務局

高浜市向山町一丁目214番地4

☎ (0566) 55-3894

(平日午後1時30分～4時30分)

✉ E-mail

tori-machikyo@katch.ne.jp

室内の換気 手指の消毒 感染症対策を  
行ったうえで 開催します

高取まちづくり協議会ホームページは [こちらから](#)





# たかしま文化

## 第52回 文協祭芸能発表会・お茶席・いけばな展

令和5年11月12日 高浜市地域交流施設たかぴあにて開催



賛助出演 瑞浪市文化協会 合唱



賛助出演 えんちょこ獅子保存会



賛助出演 高浜高校吹奏楽部



日 舞



獅子頭を触ると幸せに



多文化交流出演 ベトナムの獅子舞ムアラン



クラシックバレエ ヤスコバレエ



お 茶 席



いけばな展



篠 笛





# 第52回 文協祭会員展

令和5年11月18日～12月17日 かわら美術館・図書館にて開催



高浜中学校 美術部



瑞浪市文化協会 ポールペン画



切手アート部



こども造形・絵画部



会場風景



陶芸部



洋画部



書道部



手工芸部・手芸部



写真部



かわら美術館・図書館にて工芸部のワークショップ

## 第三十一回 春日の森 市民俳句・短歌・川柳の集い

### 俳句の部 入賞作品

一般の部

- 市長賞  
プロポーズ断つた日の天の川  
堀内なづき
- 市議会議員賞  
西日さす書棚に父の一眼レフ  
稲垣 豊美
- 市議会議員賞  
釣竿に蜻蛉ためらひなく止り  
児玉ゆき江
- 教育委員会賞  
声がする螢袋でかくれんぼ  
鶴田 啓介
- 高浜市観光協会賞  
松籟の春日の杜や秋深し  
毛受 尚志
- 高浜市商工会賞  
立秋の汗ぬぐう手を差し出しぬ  
稲垣美保子
- 中日新聞社賞  
驟雨去り少しやわらぐ我が身かな  
本多 映子
- 高浜市文化協会賞  
睫毛から滴り落ちる夏の雨  
河野 愛華
- 高浜市文化協会奨励賞  
濡れた髪塩素の匂い夏が来た  
杉浦 綾香
- 秋の庭誰もいないが声がある  
宮田 琉夏
- ちようちんが思い出照らす夏祭り  
上野 将騎
- それぞれの風鈴のおと人のよう  
松本 将弥
- せみの声聞こえる電車で登下校  
安藤 杏奈
- 夏の夜浜辺でふたり火を灯す  
小奈凜々花
- 高浜小学校  
なつやすみみんなとおなじひやけあと  
山本 天海
- 冬あけて花の時間がうごき出す  
伊庭 杏
- 手の中で桜と風が踊りだす  
木村 大吾

- 大阪で踊り狂った夏のフェス  
夏休み目覚まし時計あぶらゼミ  
公園で走る友達おち葉ふむ  
しんがつきどきどきするよしんくらす  
雪がっせんいやなおもいもぶつけ合う  
吉浜小学校  
貝殻や秋の渚に輝いて  
フラガアンジェリカ
- 夏の海波の音聞き砂を踏む  
秋の夜鬼みちまつり鬼あかり  
たんぼぼは根はりが強くたくましい  
高取小学校  
あせかいてみないつしよにはじけよう  
ほしをみてなみをみつめてよづりかな  
数独で頭の体操夏休み  
夏の夜かすかに光るかんむり座  
新しい漢字おぼえる夏の風  
ハンモックゆらゆらゆれてゆめのなか  
恐竜の化石を探す夏休み  
暑さにも負けずに今日もいつてきます  
港小学校  
雨の後きれいな花弁にひとしずく  
きこえるよ目覚し係セミの声  
きれいだな大事に育てたホウセンカ  
ホームラン打った時にはメシうまい  
黒と白くつきり体に境界線  
川にあるメダカの学校なつやすみ  
翼小学校  
鬼あかり家族がそろう秋祭り  
山のおく澄んだ空と鳥の声  
暑い夏はくのも燃え上がる  
夏祭り空はゆぐれ手をつなぐ  
せんぼうき暑さにまけぬ守り神  
かき氷ふわつとつけて雪のよう  
深谷 乃愛  
鈴木 芹菜  
神谷 聡佑  
神谷 颯汰  
江坂 早織  
松澤 春輝  
磯部 来地  
磯部 遥真  
中川 琉花  
加藤 一颯  
池田 煌希  
田中 桃佳  
加藤 沙希  
西原 湊人  
大川 英恭  
松村 康二  
西沢 琉  
弓矢 心音  
トラン ミサキ  
杉浦 大翔  
神谷 羽那  
加藤 新汰  
高瀬 ひかる  
中島 梨南  
猪塚 蓮  
古賀 太清  
喜屋原 央理  
間宮 結奈

### 短歌の部

- 一般の部 入賞作品  
天賞  
久しぶり櫓太鼓に踊りの輪  
皆賑やかに華やかなる夜  
熊田 八郎
- 地賞  
雲の上大岩の上空の中  
千疊敷にヤッホー響く  
坂野 晴美
- 人賞  
明日咲くつぼみ数える夕まぐれ  
会いたしみずいろあさがおきみに  
小松 優子
- 高浜中学校  
プールの日水着の日やけが目立ちすぎ  
花の上てんとう虫の七つ星  
島上 莉乃
- 帰り道西の空にはトマトかな  
日焼けして熱こもる肌水泳部  
万華鏡くるつと回して桜咲く  
友達とテスト勉強秋北斗  
春風が僕を急かして走らせる  
炎天をすすむ人たちぼうけんしゃ  
新学期恥ずかしながら自己紹介  
冬の朝少し遅めの朝ごはん  
南中学校  
足跡をつけて再び銀世界  
桜の木ほかの木にない特別感  
大人の世界無人駅から歩み出す  
音がする色とりどりの秋の道  
右左あみから金魚が逃げていく  
散歩中祖母とつなぐ手春一番  
こんにはは桜がドアをたたき音  
去つていく風鈴鳴らした青い風  
つゆが明けいろんなこえが聞こえる町  
夏の富士赤色染まり暑がりだ  
夏野菜遊んだ後にひとかじり  
弟も僕もびしょぬれ水鉄砲  
永柳 夏葵  
加藤 愛菜  
野口 怜愛  
鈴木 友理香  
鈴木 陽菜  
川口 ゆめ  
橋本 琴音  
加藤 奏  
有馬 由人  
嶋崎 誉  
増田 百花  
杉原 慧
- 永柳 夏葵  
加藤 愛菜  
野口 怜愛  
鈴木 友理香  
鈴木 陽菜  
川口 ゆめ  
橋本 琴音  
加藤 奏  
有馬 由人  
嶋崎 誉  
増田 百花  
杉原 慧
- 楊 夢涵  
神谷 悠羽  
三瀬 綾音  
西東 梨緒  
高松 心音  
富田 莉央  
磯貝 正生  
加藤 由怜  
島上 透弥



佳吟一

目高にも序列あるらし餌求め  
つついついと我に寄り来る  
鈴木 栄

佳吟二

若き日の家路を急ぐ我が見ゆ  
夕暮れ時の車列の中に  
鈴木 雅子

文化協会奨励賞

高浜高校  
名古屋駅私の知らない都会町  
いつもと違った楽しい世界  
石川 裕月

愛犬と早足散歩間に合うか  
雷雲と追いかけてこた  
村田 悠馬

転校した友との再会お互いに  
背が伸びたねと笑い合いながら  
矢田 倅規

元氣ッス祖母におまかせ初浴衣  
着付けもへアも超最高  
新川 暖妃

小中学生の部 文化協会奨励賞

高浜中学校

演劇部努力の成果動き出す

開演ブザーに触れた瞬間  
上田 紬

夏野菜火照った顔の祖母と我

靴はどろどろ肌は真つ黒  
吉橋 幸那

先生の無音の音が合図する

空気が止まる音が始まる  
仁枝 未羽

ギター弾き手と心のみ挑戦だ

皆聴いている私の音楽  
ピカラナパウラユリ

川柳の部

一般の部 入賞作品

天賞

病みて知る神の加護なる妻の手よ  
岡田 和久

地賞

ふるさとの達者に母の生きる音

江崎 秀子

人賞

気がつけばいつしか私あなた色

稲垣 義舟

佳吟一

七色の朝顔が咲く原爆忌

鈴木 恒夫

佳吟二

ウクライナ日本と同じ月仰ぐ

本多 貞子

文化協会奨励賞

高浜高校

人混みではぐれぬように手をつなぐ

城村百々花

暑さにも負けない僕の恋心

菅谷 侑良

めがね掛け広がる視野とその心

芳本 梨香

コロナから解放されて笑顔かな

杉浦 未桜

【俳句総評】

小中学生の皆さんの俳句について

今年もたくさんさんの俳句が寄せられました。皆さんそれぞれが、季節の中で感じたこと、経験したことなどを五・七・五の俳句形式にのせて書いていただきました。そのどれもが、その人の気持ちがあらわされていて、素晴らしいと思いましたが、なかに、以前誰かが書いたような俳句や、どこかで入賞した作品なども含まれていて、とても残念な気持ちになりました。

俳句は、ものごとや風景を見て、自分自身が感じたことを書く文芸ですので、ぜひ自分のことばで自分の思ったことを書いて、来年もまた「春日の森 俳句大会」に投句して欲しいと願っています。いつしうけんめいに書いた俳句は、あなたの一生の思い出になると思います。

(俳句選者 永井江美子)



総会

○日時：4月20日(土) 午前10時  
○場所：高浜市女性文化センター 2階

第36回 琴伝流碧美会大正琴発表会

○日時：4月21日(日) 開演:午後1時  
○会場：碧南市芸術文化ホール シアターサウス

編集後記

今年の干支・辰(龍)の逆鱗に触れたかのような元旦からの能登半島大地震。余震もかなりの数に上り、被災者の皆様にはお見舞い申し上げます。龍のせいにしては龍に申し訳ないのでお詫びに、今年の年賀から龍をテーマにした川柳を少し。



青山敬子 作

初夢は龍の卵の目玉焼き  
龍の棲む山にも不法投棄物  
いつの日か竜になる気であるトカゲ  
さて、「たかはま文化」第123号をお届けします。川柳の詠める平和な世を希求して・・・。

猫田千恵子  
濱山哲也  
橋倉久美子  
(柴田比呂志)



湯山町、神明・豊田町の皆様へ

翼小学校長 村越 茂樹  
翼小PTA会長 都築 信雄

## 「安心おじさん・おばさん」募集のお願い

— 児童下校時の安全確保のために —

早春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度も、翼小学校の児童が大きな交通事故や犯罪にあうことなく、登下校することができましたのは、保護者や地域の皆様方のご配慮のおかげと感謝しています。特に翼小学校では、毎年、4月から5月末まで、まだ登下校に不慣れな1年生にボランティアの「安心おじさん・おばさん」が付いて下校して下さっており、交通安全と犯罪防止に効果を上げています。

しかし、ご登録いただいている方のご都合で参加できなくなった方もいらっしゃいます。通学路コースに複数の方に付いていただくためには、常に一定の人数が必要で、増員を図らなければなりません。

そこで、保護者や学校から、地域の方々に依頼させていただく形で、「安心おじさん・おばさん」を毎年募集させていただいております。何卒、ご理解、ご協力をお願いいたします。また、この件につきまして、親戚やお知り合いの方に声をかけていただければ幸いです。

1 該当する方 神明・豊田町、湯山町にお住まいで、児童下校時に共に下校可能な方

2 方 法 (1) 応募いただける方は、学校へ電話かFAXでご連絡いただくか、直接ご来校ください。締め切りの期日は特に設けていません。随時受け付けます。

(2) 活動日は、令和6年4月5日(金)～5月末までの授業日(給食開始までは11時15分頃、給食開始後は14時40分頃に集合)ですが、ご都合のつく日で結構です。6月以降は、集団下校はしませんが、ご自宅付近で下校指導していただくとありがたいです。

(ベスト・帽子・名札・証明書・保険・月予定表は学校で準備します)

(3) 活動時は、学校にて活動簿に記入後、ご自宅に近いコースの1年生と同伴下校をお願いします。(コースは裏面参照)

<問い合わせ先 翼小学校・教頭 電話54-2831 FAX54-2832>



安心おじさん・おばさん

引率ルートマップ

